

脳機能改善[※]と複数機能で訴求

シクロケム

「シクロデキストリン（CD）で包接したニュージールンド産プロポリスエキス」「NZプロポリスCD」を原材料販売するシクロケム。コヒール酸フェネルエステル（CAPE）を豊富に含み、かつ主要成分とする同素材では、これまでに産業技術総合研究所と共同研究を実施。脳機能改善や抗腫瘍などの機能を持つ可能性を確認している。同社はこれらデータで訴求し、新規顧客開拓を推進する。

脳機能改善の働きは、薬剤投与により神経変性疾患を発症させたマウス試験で確認した。試験では、新たに目にする

定性と吸収性を向上させているため、神経線維腫症をはじめとする腫瘍に対し、機能が向上していることが示唆される」と説明する。

この説明を裏付けるように、同社は産総研と共同で実施した動物試験により、NZプロポリスCDがCAPEよりも抗腫瘍活性が高まっていることを確認している。

このほか、産総研とインドラ科大学デリー校の共同研究では、CAPEがCOVID-19の増殖抑制機能を持つ可能性も見出されている。

このほか、同社は主要成分のCAPEについて、オーストラリアのメルボルン・PAK研究センターの丸田浩博士により、神経線維腫症を改善する可能性が報告されていると伝える。その上で、「NZプロポリスCDであれば、CAPEをCDで包接して安

でCAPE含量を測定する。